

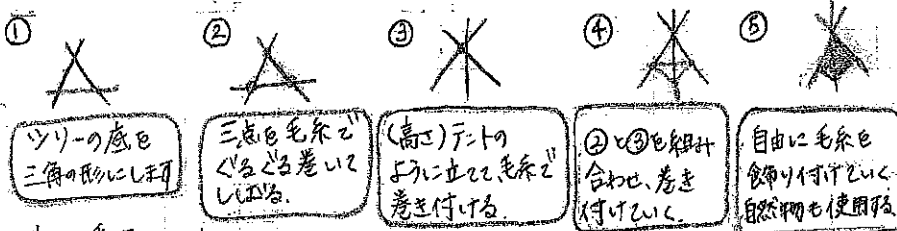


# かせぐみだより

2020.12.28 円町まふね隣保園

## たよりぐみ

### クリスマス製作



① ツリーの底を三角の形にし切り  
② 三角の毛糸をぐるぐる巻きにしていく。  
③ (高さ) テコのようにならば糸を巻き付ける  
④ ②③を組み合わせて巻き付けいく。  
⑤ 自由に毛糸を飾り付けしていく。自然物も使用可。

上記の番号にないクリスマスツリーを作りました。毛糸に角をくくりつけることが少し難しい。巻いている間に重くなってしまい、何度もやり直さざるを得ませんでした。特に本体を作り上げる時は1つ1つ集中してつなげるように、取れないように、ぐるぐる巻き付けます。どうしても重くなってしまふ時は「〇〇くんおさえて〜!!」と隣にいる友だちの手を借りて作っていました。骨組みが出来上がる。その飾り付けです。この毛糸に色や形が異なるものを巻いて巻くのが？ びりびりと巻くのが？ と思いはそれぞれです。毛糸の色が何種類もあり、全部使いたい！とたくさん色を選んだ姿もありました。取り組み始め、2〜3日毎日冬休の子ども、2週間かけてツツツ仕上げの子もたくさんです。毛糸を巻くことに集中し過ぎると、くくりつけた所が外れて立ちはたしてしまふこともあり、急いで手直しをしていました。「こうしたい」「こうしたい」で満足せず「はじ」と思いながらそれぞれのペースで進めていた制作です。子どもたちは出来上がる。「やったーできたー!!」と自分の作品に見とれていました。是非、お家で飾って頂ければと思います。

### クリスマスごっこ

今日はクリスマスごっこを中心として過ごしてきました。  
「クリスマスって何の日かな？」とクリスマスの話を絵本、DVD、カードを通し、知っています。「そうせ、イエスキリストのおたんじょうびや」「ほかせはおおぼしおてんやせ」「ひつじがいはうまごせにきほつてんやせ」と話合ひする子どもたちです。始めのころは、役を決めず、ひと通り色んな役を経験できるように、自由に演じて、実際に演じてみる。楽しいと気付く姿もありました。その中で、どうしてもやりたくないという役があり、嫌がることもありました。自分のやりたい役と合わせることで、やる気になります。その経験が糧となり、これからは何でもやる！と、一歩ずつ出かけていきました。

今年は例年と違い、たいよう組の子どもたちだけで演じるので、一人2役3役にしています。そのことを伝える時、「ええ〜!! おもしろい！ やってやる！」とやる気満々の子どもたちです。先生は子どもたちの思いを大切にしました。クリスマスごっこをする中で「兵隊さんは何をに来たの？」「羊飼いはじんばをこしているのか？」と場面ごとに先生は考え、イメージがつかないくらいに絵本やDVDを見つ、より深めたいようにしていただきました。

だんだんと寒さも厳しくなってきましたが、子どもたちは、園庭や散歩に出かけて、身体を動かしてみています。先日、雪が降った日、園では、うっすら雪に粧をしてみました。幼児クラスで、さっそく屋上に行き、みんなで雪みそをします。雪合戦をする子ども、小土の雪だるまを作る子ども、足元に積もった雪だけを踏んで、野菜や葉っぱに積もった雪をかき集めてみそぶ子どもなど、みんなで楽しいひと時を過ごしました。

## かせぐみ

### クリスマスリース作り

クリスマスプレゼント制作でリースを作りました。「リース作ってる!」「こぼれまわったのやっ!」「下のところにあるばあ」と作るのも楽しみの子どもたちです。新聞紙を巻いて、丸いリングの形を作ります。巻く幅や丸める曲線の形によって、丸まわり大きさが、太さに違いが出ています。茶色で色を塗り、麻ひもをボンドをつけて巻きます。ボンドをつけるのも、思うように巻かず、「どうやろ?」「顔もかめつも、やり方がわからず、コツと掴むと、真実は事情で一生懸命巻いています。使った、どんぐりや自然物をつけるのが、「もうかわいたんやう?」「きょうクリスマスなのやつくる?」「どんぐりはやわらかい!」と持ちあがり、楽しんでいます。どんぐりや松ぼっくり、どんぐり帽子など好きな自然物を、思い思いに付けます。「ここに付けたい」と松ぼっくりの間にどんぐりをつけていたり、巻いて付けていたり、自分なりに考えて作る姿があります。仕上げに、松や椿の葉などを付けました。「こぼれまわった!」「かわいた!」「はははのおおきいのとちいさいの、かきおわつておぼろげに、おぼろげに楽しみ、できー!!」と嬉しそうに子どもたちです。世界で1つだけの心もたにリースが完成しました。

### クリスマスごっこ

24日(木)にたいよう組の友だちとクリスマスごっこをしました。「何の役やるの?」「何の役やるの?」「おぼし、おぼし、おぼし」と考えて伝えます。たいよう組の友だちがしている聖誕劇を見ていたこともあり、「せんもかわいたんやせ!」「ほかせかおぼしやせ」と、思い出して何の役をしようか迷う子どももいます。劇が始まる前に出るのが嬉しくて、たまにはいい様子の子も、緊張している子ども、隣りの友だちと顔を見合わせ、楽しそうに歌う子どもも様々です。自分の出番と今が今かと待っている子どももいます。1人1役でも出来る形であったので、おぼし役をそれぞれ楽しみました。たいよう組の友だちの手を助けても、一緒に前に出たり、台詞を言ったり嬉しそうに子どもたちの姿がありました。「たのしやせ!」「つぎはおぼしやせ!」「たいようさんおぼしやせ」と笑顔の子どもたちでした。来年は小童の衣装を着て、聖誕劇をすることも楽しみにしています。

### しっかり食べよう! 朝ごはん

朝、寒くはかお早起きや早起き、夜遅くまで起きてしまふ、年末年始、生活リズムが乱れがちですが、休みの日も規則正しい生活を意識しましょう。日本の幼児は欧米の子もたちより(時間)20分睡眠が短いという統計があります。睡眠時間が短いと朝、目覚めることができません。食欲が湧かず、朝食が食べにくくなります。朝食をしっかり食べるために、そして健康な成長のために、睡眠をたっぷり取ることも大切です。生活リズムを守りつつ、風邪や感染症に気を付け、よいお年をお迎えください。

## かせぐみ

### クリスマスごっこ・クリスマス制作

保育室で見えていると、たいよう組の友だちが、クリスマスごっこをしている声が聞こえてきます。すると「ちよとみてる!」と見に行く子どもたちです。かせ組だけで、聖誕劇の宿屋さんごっこしたり、たいよう組が宿屋さんをしている時に、一緒にしたりと楽しみます。クイントン宿屋さんへ、クオお生れたイエス様が〜と歌も少し覚え、口ずさむ子どももいます。クリスマスプレゼント制作では、リースを作りました。四角いダンボールを丸くする方に、繋げるのは難しく、うまく繋げて、保育室が「ここにくっつけるよ」と声をかけると、急に角度を変えて繋げる子ども、かきつずらして繋げますが、なかなかくっつかない子どももいました。しかし最後には繋がり、色とりどりのリースになりました。絵の具を塗り、散歩で拾ってきた、どんぐりやまつぼっくりを好きなように付けると楽しんでいました。

### お箸の移り行へ向けて

園では、給食時スプーンを使って食べています。しかし、スプーンの持ち方も様々で、上から握って食べる子ども、下から握って食べる子ども、スプーンだけを握り、手首のみで食べる子どももいます。また、鉛筆を持つおにぎり点持ちをするもの、カを入れた持ち、うまくこぼれやおかずをすくって食べられないため、お皿やお茶碗に口を付けて、スプーンで口へかき込んで食べる子どももいます。お箸へ移行するには、スプーンを正しく点持ちし、自在に手首を動かせるようになることがポイントとなります。そうすることで、お箸へ移行するとスムーズに持てるようになります。

トレーニング箸を家で使っている子どももいると思いますが、子どもがお箸を持つきっかけとしては、食べているという自信に繋がり興味づけにもなるので、よいアイテムですが、それに依存しすぎると普通のお箸を持った時に、うまく操作しにくいです。2本のお箸が、くっついてトレーニング箸は、どちらかというトレーニングのようでは作られているので、ハサミのように親指も使った両手で、お箸を動かすようにしていき、かちです。

リングに指を入れ、開閉するだけで、お箸の使える気持ちになります。うまいもので、しかし、普通のお箸は、親指側の箸は、動かさず、人差し指側の箸を2本の指で、おさみ上下に動かして使います。

トレーニング箸と普通のお箸は、指の使い方が全く違うので、トレーニング箸から普通のお箸に移った時に、とまどう子どもが多いです。園では、スプーンを3点持ち、しっかりと持ち、手首を自在に動かして食べられるように、行った時のタイミングで、お箸に移行していただきます。今はスプーンで3点持ちをして、食べられるように、無理のないよう声をかけていきます。

聖誕劇の流れをつかみ始めてきた頃、役を決めようと話し合いを持ちました。可成り決まる役もあれば、人数が多くなるか少ないか決まらない役もありました。希望する役に文字としての思いや小遣れがいろいろと、譲れたい海もあり、役ごとに集まり、話し合います。「じゃんけんしよう」という声が上がります。その時は賛成する子どもたちも、でも大切な役を勝ち負けで決めてしまうことは子どもたちにとっても何だか違うよね、どの役も大事で誇りある役であることを伝えた上で、再度集まり、話し合いをします。一日では決まらないので、保育者が時として間に入り、長い目で見守っていました。

役決め話し合いを進めつつも、クリスマスツリーを飾っていきまふ。一人2役3役でもあり、日を重ねると、こっ方のせくでもいいよ、やってみるわ”などと、色んな役の奥力も感じ、思いや考えも変わっていき、時間を掛けて、決まっています。

ただ、1つ、マリア役がどうしても決まらず、当人だけだけでなく、心西出来る子どもたちからみんなが集まり、話し合い、知恵を出し合います。お互い思いが強く、和ら平行線だった当人の間では、話がまとまらず、あみだくじをする方向になりましたが、これもじゃんけんと一緒にしてはいいけれど、大事な役決めはこの決め方いいのかなと、保育者が結果の出る寸前で止めることにしました。本番ギリギリまで待つ、をみます。お互い話し合うことを避けて、逃げたりしてしまふこともありましたが、本番近くになり、次第に向き合っていくようになりました。話し合い出来る時、まふ、えびで見守、てい子ども、色々と提案してくれていた子ども、2人の話し合い自分のことのように真険に考えられている子ども、優しい仲間の存在もあり、お互いが気持ちよく、マリアの役を取ることになりました。

楽しみにしていたDVD撮影の日(23日(水))はクリスマスの前日であつ、二つもあり、「まふはほんばんちやうど」と言い合う姿もありました。しかし、ビデオが回り始めると、気持ちづつ入り緊張する姿が多々、表情もきりきりしています。ドキドキして、セリフが出てこぬ子ども、座している間、落ち着かず、隣の子どもと手を合わせる子ども、また、いつも以上にほりきる姿の様子も、「間違えてもいいから、自信を持って前へ出よう」とみんなが演じていました。一人ひとりの今ある精一杯を出り切りにという思いで頑張っていた子どもたちです。

セリフ終えに後はみんな満足した表情です。また、DVDを楽しみにしててください。



色んな役を総馬鹿にしてます！  
★ 本当に乗向はなクリスマスと  
★ ぶりまふと★



今年も色々ありがどうございました！来年も引き続き、よろしくお願ひします。元気いっぱい子どもたちに会えることを楽しみにしています！！